

2023年10月吉日

## 第36回東京国際映画祭への取り組みに関して



Dolby Japan株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：大沢幸弘)は、10月23日から11月1日まで開催される第36回東京国際映画祭に協賛いたします。

Dolby Laboratoriesは1965年にレイ・ドルビーによって創業され、長年にわたり革新的な音響と映像技術のリーダーとしての地位を築いてきました。Dolby Japanは、その日本法人としてDolbyの技術を日本にも広める役割を果たしています。

映画、音楽、そして幅広いエンターテインメント分野で、Dolbyの先進的な技術は、観客に没入感豊かな体験を提供するために活用されています。昨今では映画館にとどまらず、ご家庭のテレビや音響機器、パソコンやスマートフォンでの体験を素晴らしいものにする技術として広く採用されています。

共に未来を照らす素晴らしい瞬間を創り出すため、Dolby Japanは東京国際映画祭を応援しています



期間中、弊社は下記の催しを開催/共催させていただき予定です。

## 記

### 1. 体験型ポップアップストア「Dolby 体験イベント at b8ta Tokyo - Yurakucho」の開設

概要：2023年9月22日（金）～10月31日（火）までb8ta Tokyo - YurakuchoにてDolby 技術を体験できる特設ポップアップストアを開設いたします。



イメージ写真

**b8ta**

< b8ta Tokyo - Yurakucho >

期間：2023年9月22日（金）～10月31日（火）

場所：東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル1階

営業時間：11:00 - 19:30

定休日：不定休



### 2. ワーナー・ブラザーズ創立100周年記念『オズの魔法使』ドルビーシネマ版 特別上映

概要：ワーナー・ブラザーズ創立100周年記念企画として日本では初上映となる『オズの魔法使』のドルビーシネマ版の上映を行います。

期間：10月27日～11月1日

場所：丸の内ピカデリードルビーシネマ

作品解説：映画史上最も愛される作品の一つ『オズの魔法使』。

2019年に、公開80周年を記念してオリジナルネガからのスキャンングにより作られたドルビーシネマ版を日本初上映。テクニカラーによる鮮やかな色彩で描かれる、ジュディ・ガーランド演じる少女ドロシーが繰り広げる不思議な冒険が、HDR映像でスクリーンによりみがえります。



監督：ビクター・フLEMING キャスト：ジュディ・ガーランド レイ・ボルジャー パート・ラー  
102分/カラー&モノクロ/英語/1939年アメリカ/配給：ワーナー ブラザーズ ジャパン  
©1939 Turner Entertainment Co. and Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.

チケット発売：WEB販売：10月14日（土）17時～  
丸の内ピカデリー劇場窓口販売：10月15日（日）劇場オープン～（残席がある場合のみ）  
料金：鑑賞料金＋一律700円（一般の場合は2,000円＋700円で2,700円となります）

上映スケジュール、及び、チケット購入方法などの詳細は下記サイトをご確認ください。  
<https://www.smt-cinema.com/site/marunouchi/>

### 3. 国際交流基金×東京国際映画祭 co-present「交流ラウンジ」 Dolby体験コーナーの設置

概要：映画祭パスホルダーの皆様（※）向けに、東京国際映画祭が国際交流基金との共催で開設される交流ラウンジにてDolby体験コーナーの設置を行います。映画鑑賞やご登壇の間の、お打ち合わせやお食事のご用途にご活用いただけます。また期間中、本スペースにて開催されるトークイベントを共催させていただく予定です。（詳細後日発表）

期間：10月24日（火）～10月31日（火）  
会場：有楽町 micro FOOD & IDEA MARKET

※ 交流ラウンジは一般の方のご入場はできません。映画祭関係者および作品出品者、Press関係者、バスをお持ちの方のみご利用になれます。

第36回東京国際映画祭に関しては公式HPをご覧ください。  
<https://2023.tiff-jp.net/ja/>

以上

#### ドルビーラボラトリーズについて

ドルビーラボラトリーズ (NYSE: DLB) は、サンフランシスコを拠点とし、世界の20か国以上にオフィスを展開しています。ドルビーは音響と映像の科学技術からスペクタクルな体験を作り出してきました。革新的な研究とエンジニアリングに加えて、アーティストから企業、消費者までの広範囲にわたる協力関係に基づいたエコシステムを築くことにより、ドルビーは世界の数十億の人々に画期的な体験を届けています。ドルビーシネマ、ドルビービジョン、ドルビーアトモス、ドルビーオーディオ、ドルビーボイスによる体験は、映画館、外出先、家庭、職場でのエンタテインメントとコミュニケーションを大きく変革しています。

Dolby、ドルビー、Dolby Cinema、Dolby Atmos、Dolby Vision、Dolby Audio、およびダブルD記号は、アメリカ合衆国と/またはその他の国におけるドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。

その他の商標はそれぞれの合法的権利保有者の所有物です。

【本件に関するお問い合わせ先】

Dolby Japan 株式会社  
金重 ([Soichiro.Kaneshige@dolby.com](mailto:Soichiro.Kaneshige@dolby.com))